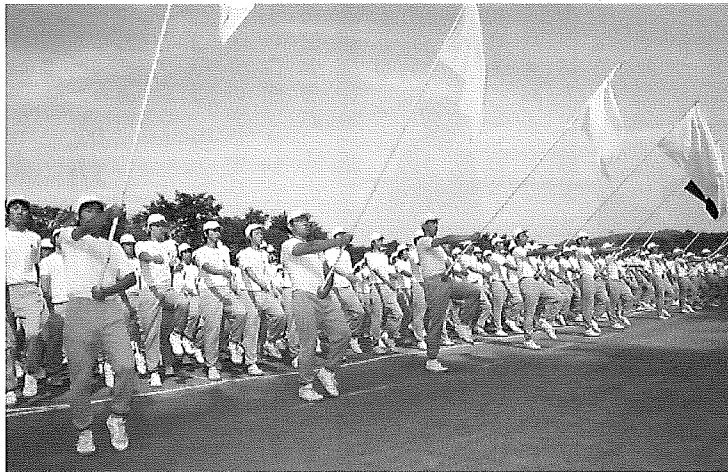


# 一年を振り返って

高校 二年  
北 詰 裕 基  
(西脇市立西脇中卒)



(運動会入場行進)

僕がここ岡山白陵に入学して一年がたちました。自分ではとても早かったように感じます。しかしこの一年で自分なりに「白陵らしさ」というものが見えてきたように思います。例えば、運動会のプログラムに先立って全校生で行進は、生徒が一丸となり完成度がとても高く、迫力があります。競技においても、選手が懸命なのはもちろん、応援席でも熱く大きな声援が飛びます。特に最後の種



(運動会騎馬戦)

目、高校男子による騎馬戦は大変盛り上がりです。他にも、岡山白陵では柔道大会、球技大会、文化発表会など様々な行事がありますが、いずれも、その前には限られた時間の中、入念な準備や練習が繰り返され、学校全体で行事に参加していくのです。楽しいことはみんなで思い切り楽しもうとする、それが「白陵らしさ」の一端です。

学習面でもこの学校はとても充実しています。七〇分の密度の濃い授業は、この学校ならではの特色です。時間の長さに加えてスピードも早いので、最初は長く大変だと感じるかもしれませんが、慣れれば苦痛ではなく楽しみました。もし分からない問題があっても質問すれば先生方は丁寧に分かるまで教えてくださいます。それに友人達は皆一人一人学習意欲が高く、集中して授業に臨めます。つまり、頑張ろうとするとき、この学校では一人きりではありません。支えてくださる先生がいて、励まし合える友達がいます。それも「白陵らしさ」なのだろうと思います。

正直なところ、今の僕の成績は学年全体ではそれほどよくありません。でもだからと言ってそこで諦めたりせず、慌てたりもせず、毎日の授業に集中して取り組もうと思います。そして、勉強ばかりではなくみんなと学校生活のいろんな場面を楽しんでいこうと思います。もともと「岡山白陵生らしく」、それが僕の次の課題です。